

福島第一原子力発電所 土壤中のPu分析結果

1.測定結果：

(単位：Bq/kg・乾土)

採取場所 ()は1,2号機スタックからの距離	採取日	Pu-238	Pu-239+Pu-240
グラウンド(西北西約500m) ¹	平成25年3月11日	$(3.8 \pm 0.73) \times 10^{-2}$	N.D. [$<1.2 \times 10^{-2}$]
野鳥の森(西約500m) ¹		$(9.4 \pm 1.2) \times 10^{-2}$	$(3.2 \pm 0.67) \times 10^{-2}$
産廃処分場近傍(南南西約500m) ¹		$(3.2 \pm 0.94) \times 10^{-2}$	$(7.5 \pm 1.5) \times 10^{-2}$
国内の土壤(昭和53年～平成20年) ²		N.D. $\sim 1.5 \times 10^{-1}$	N.D. ~ 4.5

[]内は検出限界値を示す

1：過去のサンプリングが重ならないよう隣接地を採取。

2：出典「環境放射線データベース」(文部科学省)

2.分析機関：株式会社 化研

3.評価：

3月11日に検出されたPu-238とPu-239+Pu-240の濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウトと同様なレベルである。しかし、これまでの結果から、今回の事故に由来する可能性が考えられる。

以 上